



関中学校だより

第7号 令和元年10月31日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tky.ed.jp/>

当たり前のことを

校長 大澤 秀吉

10月24日(木) 練馬文化センターにおいて、関中学校合唱コンクールが、開かれました。多くの課題を解決しながら、各クラスが音を合わせて心をつにして歌いあげていました。各クラスの思いが、より強く伝わってくるようでとても感動しました。特別審査員の塚田誠先生からも、鑑賞態度の素晴らしさなど称賛の言葉をたくさんいただきました。

静かに聴く、これは当たり前のことだと考えてしまいがちですが、当たり前のことを当たり前にできるというのは、とても能力が高いことをあらわしています。

当たり前のこととは、人としてあるべき姿です。

あるべき姿とは、人が長い年月をかけて、磨き上げてきた理想形です。

だから、当たり前のことができている時は、理想形のありべき姿をしている。

すなわち、レベルが高い状態なのです。

この当たり前のことですが、大人でもなかなかできない。それを実行できている関中生は、とてもレベルが高い、自信をもってください。もうすでに、一生モノの宝を身に付けているのです。

何かをしたときに、「すごーい！」「なんで、できるの！」と言われたことはありませんか。

そのとき、「べつに」とか「ふつう」と答えたりしていませんか。

「ふつう」と答えた普段行っている行為も、自分ではあまりにも簡単に当たり前にできてしまうので、普通の事と考えてしまいますが、実は、出来ない他者から見ると、とてもすごいことであり、あなたの宝なのです。自分には、宝が備わっているということを忘れないでください。

出来ないことや苦手なことにばかり気にして、宝に気づかない、そんなことが無いようにしてください。

自分を育てていくのは自分です、自分の思考や言動が未来の自分を作っていきます。どのような大人になりたいのか、いじめをするような嫌な大人になりたいのか、よく考えて行動してください。

まずは、「挨拶」心の扉を開くコミュニケーションの第一歩です。

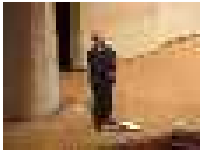
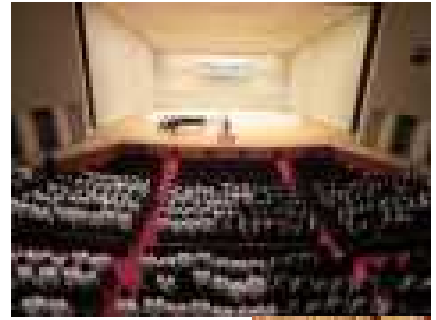
そして、「ありがとう」心に余裕がないと、出てこない言葉です。

素敵な人として成長するために、ここから始めましょう。

【朝礼 校長講和より】

令和元年度 関中学校 合唱コンクール

10月24日(木) 全日本吹奏楽連盟 名誉会員の塚田誠先生を特別審査員としてお迎えし、練馬文化センターにおいて合唱コンクールが行われました。どのクラスも、練習の成果を一点に集中した、素晴らしい合唱でした。実行委員を中心とした生徒の活躍や鑑賞態度など関中生の、さらなる成長を見ることができました。



金賞 3年C組 2年C組 1年E組

銀賞 3年B組 2年B組 1年A組

*曲名に関してはHPをご参照ください



新生徒役員が決定しました

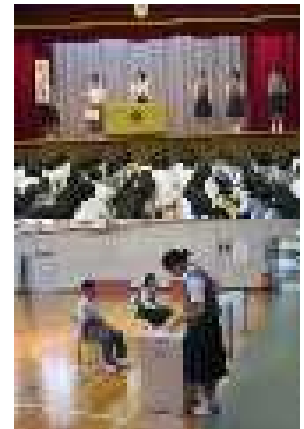
会長 2年 Oさん

副会長 2年 Aさん 1年 Kさん

役員 2年 Tさん 1年 Yさん

役員 1年 Fさん 1年 Sさん

これから関中学校が、どのように伸びて変化していくのかとても楽しみです。



関中生の活躍

令和元年度「歯・口の健康に関するポスターコンクール」中学校の部

歯科医師会賞 3年 Kさん

(10/31~11/8まで練馬区役所アトリウムに展示)

ウィンドアンサンブル部 10月20日(日) 第二光陽苑 秋の音楽祭

10月26日(土) 第40回 関地区祭り 関区民センター

10月27日(日) アスク保育園運動会 入場行進曲

サッカー部 練馬区総合体育大会 第4位

水泳部 第67回東京都中学校学年別水泳競技大会

Sさん 100m 自由形 第1位

第72回練馬区民体育大会水泳競技大会

Sさん Kさん Kさん Aさん 女子200mMR 第2位

Kさん Iさん Aさん Sさん 女子200mFR 第2位

Sさん 100m 自由形 第1位 50mバタフライ 第2位 200m個人メドレー第3位

Mさん 100m 自由形 第3位

Sさん 100m 平泳ぎ 第2位

Aさん 100m 平泳ぎ 第2位

Sさん 50m バタフライ 第3位 50m 背泳ぎ 第3位

